



2022年7月26日

株式会社 阿波銀行

有限会社敷島モータースの「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、有限会社敷島モータース（代表取締役 敷島 由雄、本社：徳島県美馬市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	有限会社敷島モータース
所在地	徳島県美馬市穴吹町口山字調子野 502 番地 1
代表者	敷島 由雄
業種	自動車整備業
設立	1991年11月7日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2022年7月26日



## 有限会社敷島モータース 代表取締役 敷島 由雄

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・社会	環境問題の認識・理解の推進	環境問題を自分事として取り組むために、環境意識のさらなる向上に努めます。	① 従業員に対する教育・研修の定期的な実施	 4 質の高い教育をみんなに	 13 気候変動に具体的な対策を
			② 環境問題に関する教育を年一回以上の実施	 12 つくる責任 つかう責任	
社会・経済	地元人材の活用	雇用を通じた地域振興のため様々な地元人材の活用を推進します。	① U・Iターン人材採用に向けた行政との連携	 8 働きがいも経済成長も	
			② 2025年までにU・Iターン人材採用率50%以上	 11 住み続けられるまちづくりを	
社会・経済	地域活性化・産業振興	持続可能な地域づくりのため地域の社会的・経済的な活性化の取組みを行います。	① 行政の産業振興事業への参画	 11 住み続けられるまちづくりを	
			② 地元の活性化を図るイベントへの協賛、協力を一年に二回以上実施する	 17 パートナシップで目標を達成しよう	
社会・経済	SDGsの取組みの表明	会社としてSDGsに取り組むことを決め、その社会的な意義や自社にとっての目的を従業員に伝え、社会へ貢献します。	① SDGsを取入れた経営方針・経営計画の表明、SDGsの取組みの情報開示	 8 働きがいも経済成長も	
			② 2023年までにホームページで情報開示	 17 パートナシップで目標を達成しよう	

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。